

No 4270701

## 事務事業評価票

所管部長等名	建設部長 関 賢一
所管課・係名	下水道建設課 計画係
課長名	福田 新士

評価対象年度 平成27年度

## 1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名	雨水ポンプ場維持管理事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	7	—	5	—	3
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるまち	事業コード(大-中-小)	3	—	15	—	01
	施策の大綱(節)【政策】	1	うるおいのある快適なまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	5	下水道の充実		施策大項目				
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防除		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	日奈久浜町ポンプ場(日奈久浜町)、徳淵ポンプ場(本町4丁目)における維持管理並びに保守点検を行うもの。								
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営 ● 一部委託 全部委託 補助金(補助先: その他( )								
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市下水路 (第二十六条～第三十一条)								
事業期間	開始年度			終了年度			法令による実施義務 (該当欄を選択)	● 1 義務である 2 義務ではない	
	合併前			未定					

## 2 (Do) 事務事業の実施

## 評価対象年度の事業内容等

対象 (誰・何を)	日奈久浜町ポンプ場、徳淵ポンプ場							
事業内容(手段、方法等)	雨水ポンプ場が適切に稼働するよう維持管理を行う。							
成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	大雨時の浸水被害を軽減し、流域住民の生命財産を守る。							
	(事業費) 4,588千円 委託料 2,925千円 日奈久浜町ポンプ場機器保守点検委託 831千円 日奈久浜町ポンプ場浚渫委託 1,102千円 需用費 電気料 1,747千円 等 (財源) 一般財源 4,588千円							
コスト推移	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度予算	29年度見込	30年度見込	31年度見込	
総事業費 (単位:千円)	-	7,102	7,668	7,143	7,448	7,448	7,448	
事業費(直接経費) (単位:千円)	3,970	5,002	4,588	4,063	4,368	4,368	4,368	
財源内訳	国県支出金	694	0	130	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源(特別会計→繰入金)	0	0	0	0	0	0	
	一般財源(特別会計→事業収入)	3,276	5,002	4,458	4,063	4,368	4,368	4,368
人件費	25年度決算	26年度	27年度	28年度見込	29年度見込	30年度見込	31年度見込	
概算人件費(正規職員) (単位:千円)	-	2,100	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	
正規職員従事者数 (単位:人)	-	0.30	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	
臨時職員等従事者数 (単位:人)	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

事業の活動量・実績の数値化	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
				①	計画	-			
			実績					-	-
	②		計画	-					
			実績					-	-
	③		計画	-					
			実績					-	-

<記述欄>※数値化できない場合  
維持管理業務であるため数値化する指標は設定できない。

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
					①	計画	-			
			実績						-	-
	②		計画	-						
			実績						-	-
	③		計画	-						
			実績						-	-

<記述欄>※数値化できない場合  
維持管理業務であるため数値化する指標は設定できない。

### 3 (Check) 事務事業の自己評価

着眼点	チェック	判断理由
<b>◆事業実施の妥当性を備えているか</b> ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である  概ね妥当である  妥当でない	八代市総合計画に明記してあり上位政策・施策に結びついている。 突発的な豪雨が増えるなか、その役割はますます高まっている。 また、市が事業主体であることは、下水道法に明記してあり、妥当である。
<b>◆活動内容は有効なものとなっているか</b> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である  概ね有効である  有効でない	ポンプ等の設備は、老朽化が進んでいるものの、日常及び定期点検整備を実施し、維持管理しているため、成果目標の達成は順調である。 また、最低限の維持管理を行っており、事業内容を見直す余地はない。
<b>◆実施方法は現行どおりでよいか</b> ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい   見直しが必要	施設の運転管理については既に民間委託を行い、低コストにて維持管理を行っており現行どおりの実施方法でよい。 また、受益者負担はなく、見直す必要はない。



No 4270702

## 事務事業評価票

所管部長等名	建設部長 関 賢一
所管課・係名	下水道建設課 計画係
課長名	福田 新士

評価対象年度 平成27年度

## 1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名	都市下水道維持管理事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	7	—	5	—	3
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるまち	事業コード(大-中-小)	3	—	15	—	02
	施策の大綱(節)【政策】	1	うるおいのある快適なまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	5	下水道の充実		施策大項目				
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防除		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	大雨による浸水被害を軽減することはもとより、水と人とのふれあい、憩いの場として整備された排水路である「宮地都市下水道」について、整備効果の継続的発現のために必要な維持管理業務を行うものである。排水路周りの草刈りやごみの撤去などの軽作業については地元有志団体に委託し、堆積土砂の撤去や樹木の病害虫駆除等の重機や専門知識を要する作業については専門業者に委託して維持管理を行っている。								
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営 ● 一部委託 全部委託 補助金(補助先: ) その他( )								
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市下水道 (第二十六条～第三十一条)								
事業期間	開始年度			終了年度			法令による実施義務 (該当欄を選択)	● 1 義務である 2 義務ではない	
	合併前			未定					

## 2 (Do) 事務事業の実施

## 評価対象年度の事業内容等

対象 (誰・何を)	宮地都市下水道							
事業内容(手段、方法等)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)							
宮地都市下水道の水路周りの環境整備として草刈り、樹木の病害虫駆除を行う。また、水路の断面確保としてごみや堆積土砂の撤去を行う。  (事業費) 1,786千円 委託料 685千円 伏越工維持管理委託(地元有志団体) 155千円 清掃業務委託(地元有志団体) 303千円 樹木病害虫駆除 227千円 需用費 1,101千円 浚渫 1,101千円 (財源) 一般財源 1,785千円	大雨時における浸水被害を軽減し、流域住民の生命財産を守る。併せて、周辺住民の憩いの場としての景観施設などの維持管理を行う。							
コスト推移	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度予算	29年度見込	30年度見込	31年度見込	
総事業費 (単位:千円)	-	5,892	5,916	6,955	5,974	5,974	5,974	
事業費(直接経費) (単位:千円)	1,226	1,692	1,786	2,825	1,844	1,844	1,844	
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他特定財源(特別会計→繰入金)	0	0	0	0	0	0	
	一般財源(特別会計→事業収入)	1,226	1,692	1,786	2,825	1,844	1,844	1,844
人件費	25年度決算	26年度	27年度	28年度見込	29年度見込	30年度見込	31年度見込	
概算人件費(正規職員) (単位:千円)	-	4,200	4,130	4,130	4,130	4,130	4,130	
正規職員従事者数 (単位:人)	-	0.60	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59	
臨時職員等従事者数 (単位:人)	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

事業の活動量・実績の数値化	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
				①	地元有志団体による維持管理	団体	計画	-	3
			実績	3	3	3	3	-	-
②	堆積土砂の浚渫	回/年	計画	-	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	-	-
③	樹木の病害虫駆除	回/年	計画	-	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2	-	-

<記述欄>※数値化できない場合

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
					①				計画	-
				実績					-	-
②				計画	-					
				実績					-	-
③				計画	-					
				実績					-	-

<記述欄>※数値化できない場合

維持管理業務であるため数値化する指標は設定できない。

### 3 (Check) 事務事業の自己評価

着眼点	チェック	判断理由
<b>◆事業実施の妥当性を備えているか</b> ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である  概ね妥当である  妥当でない	八代市総合計画に明記してあり上位政策・施策に結びついている。 突発的な豪雨が増えるなか、その役割はますます高まっている。 また、市が事業主体であることは、下水道法に明記しており、妥当である。
<b>◆活動内容は有効なものとなっているか</b> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である  概ね有効である  有効でない	安定的に維持管理しており成果目標の達成は順調である。 また、最低限の維持管理を行っており、事業内容を見直す余地はない。
<b>◆実施方法は現行どおりでよいか</b> ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい   見直しが必要	地元有志団体の協力のもと、低コストにて維持管理を行っており現行どおりの実施方法でよい。 また、受益者負担はなく、見直す必要はない。



所管部長等名	建設部長 関 賢一
所管課・係名	下水道建設課 計画係
課長名	福田 新士

評価対象年度	平成27年度
--------	--------

1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名	雨水ポンプ場施設整備事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	7	—	5	—	3
施策の体系 (八代市総合計画に における位置づけ)	基本目標(章)	3	安全で快適に暮らせるまち	事業コード(大-中-小)	3	—	15	—	03
	施策の大綱(節)【政策】	1	うるおいのある快適なまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標				
	施策の展開(項)【施策】	5	下水道の充実		施策大項目				
	具体的な施策と内容	2	市街地における浸水防除		施策小項目				
事務事業の概要 (全体事業の内容)	日奈久浜町ポンプ場(日奈久浜町)、徳淵ポンプ場(本町4丁目)における増設及び改築工事を行うもの。								
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営 ● 一部委託 全部委託 補助金(補助先: その他( )								
根拠法令、要綱等	下水道法 第3章 都市下水路 (第二十六条～第三十一条)								
事業期間	開始年度			終了年度			法令による実施義務 (該当欄を選択)	● 1 義務である 2 義務ではない	
	合併前			未定					

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等

対象 (誰・何を)	日奈久浜町ポンプ場								
事業内容(手段、方法等)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)								
調査診断を経て作成した施設の長寿命化計画(改築・更新計画)に基づき、施設の改築更新を行う。 (改築概要) 事業期間：平成26年度～平成29年度、 総事業費：313,000千円  日奈久ポンプ場機械設備改築工事(H26～H27) (事業費9,040千円のうち平成27年度分) 5,584千円 日奈久ポンプ場電気設備改築工事その1(H26～H27) (事業費87,156千円のうち平成27年度分) 72,463千円					大雨時の浸水被害を軽減し、処理区域住民の生命財産を守る。				
コスト推移	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度予算	29年度見込	30年度見込	31年度見込		
総事業費 (単位:千円)	-	29,641	81,881	103,364	99,780	0	0		
事業費(直接経費) (単位:千円)	7,263	24,741	78,101	99,584	96,000	0	0		
財源内訳	国県支出金	2,905	9,860	31,219	39,228	38,400	0	0	
	地方債	0	13,300	42,100	52,900	51,800	0	0	
	その他特定財源(特別会計→繰入金)	2,350	0	0	0	0	0	0	
	一般財源(特別会計→事業収入)	2,008	1,581	4,782	7,456	5,800	0	0	
人件費	25年度決算	26年度	27年度	28年度見込	29年度見込	30年度見込	31年度見込		
概算人件費(正規職員) (単位:千円)	-	4,900	3,780	3,780	3,780	0	0		
正規職員従事者数 (単位:人)	-	0.70	0.54	0.54	0.54	0.00	0.00		
臨時職員等従事者数 (単位:人)	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	日奈久浜町ポンプ場の長寿命化計画策定から改築更新までの事業進捗率	%	計画	-	4.6	20.2	60.5	80.3	100
実績				2	4.6	20.2	60.5	-	-	
②		計画	-							
		実績					-	-		
③		計画	-							
		実績					-	-		
〈記述欄〉※数値化できない場合										

  

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①				計画	-				
				実績					-	-
②				計画	-					
				実績					-	-
③				計画	-					
				実績					-	-
〈記述欄〉※数値化できない場合 施設の機能を維持管理するための事業であること、また浸水被害は降雨の状況に左右されるが、降雨は不測であることから、成果指標は数値化できない。										

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
<b>◆事業実施の妥当性を備えているか</b> ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である  概ね妥当である  妥当でない	八代市総合計画に明記しており上位政策・施策に結びついている。 突発的な豪雨が増えるなか、その役割はますます高まっている。 また、市が事業主体であることは、下水道法に明記しており、妥当である。
<b>◆活動内容は有効なものとなっているか</b> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である  概ね有効である  有効でない	ポンプ等の設備は、老朽化が進んでいるものの、日常及び定期点検整備を実施し、順調に稼動していることから、成果目標の達成は順調である。
<b>◆実施方法は現行どおりでよいか</b> ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい   見直しが必要	施設改築事業の実施にあたり、一般競争入札にて行い、コスト削減はなされていることから、現行どおりでよい。



**4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善**

<b>今後の方向性</b> (該当欄を選択)	1 不要(廃止)	2 民間実施	3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等)
	4 市による実施(要改善)	● 5 市による実施(現行どおり)	6 市による実施(規模拡充)
<b>今後の方向性の理由、改革改善の取組等</b>	(今後の方向性の理由、改革改善の取組をもたらそうとする効果など) 大雨等による浸水を軽減するために雨水ポンプ場を適切に稼働させ、市民の生命と財産を守ることは行政の使命であるため。		

<b>外部評価の実施</b>	無	<b>実施年度</b>	
<b>改善進捗状況等</b>	H27進捗状況		
	H27取組内容		

<b>決算審査特別委員会における意見等</b>	特になし <span style="float: right;">(委員からの意見等)</span>
-------------------------	---